

京都創生

KYOTO SOUSEI



第2号

京都の魅力を守り、活かし、発信しよう！

「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同いただいた会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現を目指した取組を応援する広報誌です。

【特集】京町家の危機は京都文化の危機

※誇るべき「京町家」

京町家は京都のまちなみ景観を特徴付ける木造の伝統的都市住宅です。そこには、京都のまちなかでの「暮らしの文化」、建築そのものが持つ「空間の文化」、そして職住共存を基本として発展してきた「まちづくりの文化」が受け継がれ、現在も息づいています。

時代の潮流を柔軟に受け止め、成長しつづけてきた京町家は、京都の先人の知恵と粋の結晶であり、京都文化の象徴です。



しかしながら、京町家は現在も数多く残ってはいるものの急速に減少しており、毎年約2パーセントずつ喪失しています。その背景には、建物の老朽化・維持管理、相続、所有者・居住者の高齢化、空き家の進行、防災上の問題など、様々な要因が挙げられます。

京町家の減少は、歴史都市・京都の記憶の喪失にほかなりません。京町家の減少や変容に歯止めをかけ、さらに次世代へと受け継いでいくということは、京都そのものの保全・再生を推進するということに繋がります。

※京町家保存・再生の取組

財団法人京都市景観・まちづくりセンターでは、平成17年9月、京町家の保全・再生・活用を促進することを目的に「京町家まちづくりファンド」を設立しました。

この基金は、多くの市民・企業からの寄付金のほか、京都市からの資金拠出、国からの資金助成によって構成されています。



改修前



改修後

積み立てた基金やその運用益を用いて、平成18年度から助成事業が始まり、現在、39件の京町家再生プロジェクトを支援していますがまだまだ少ないのが実情です。

○京町家まちづくりファンドへのご協力を

<http://kyoto-machisen.jp/fund/index.html>

京都創生推進フォーラム

本フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民らが集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の気運を高めていくことを目指しています。

「京都創生推進フォーラム連携支援事業」対象事業決定

京都創生推進フォーラムでは、会員の皆様と連携し、「国家戦略としての京都創生」の実現に向けた取組を推進することを目的に、その趣旨に沿った事業を支援するための「京都創生推進フォーラム連携支援事業」を開始しました。

京都創生推進フォーラム運営委員会による選考の結果、平成21年度は次の4事業が対象事業として選定されました。

対 象 事 業

京都駅ビル開発株式会社 文化	(イベント) 京の伝統的工芸品で暮らしのエコ ～京都美風～	平成21年11/1～12開催
NPO 法人京都文化企画室 文化	(ワークショップ・鑑賞会) 能の世界に誘うタベ	平成21年12/5開催
長瀬博一さん 景観	(パネル展示) 京都景観ケーススタディ	平成22年3月開催予定
京都春秋事務局 観光	(観光情報パンフレット) 「京都春秋2010春」	平成22年3月発行予定

事 例 紹 介

京の伝統的工芸品で暮らしのエコ ～京都美風～

京都駅ビル開発株式会社

- ◆期間 平成21年11月1日～12日 ◆場所 京都駅ビルインフォメーション前スペース
- ◆内容 西陣織、京鹿の子絞、京友禅などの伝統的工芸品がもつ良さや魅力を広くアピールし、地元産業を支える技を実演・パネル展示・ビデオ上映などで紹介。



企画趣旨

多くの伝統的工芸品は自然素材で作られていて、壊れたり古くなっても修理をすれば繰り返し使えます。つまり、「自然に返る素材」で「長く使える」という伝統的工芸品は「エコ製品」の代表であり、それらを生活に取り入れることは環境にやさしいライフスタイルの実践といえます。



今回の展示会では、「エコ」を切り口に京の伝統的工芸品を紹介することで、良いものを長く使う、京都の伝統的な暮らしを現代に復活させようと呼びかけました。

- ひとこと 私どもは、この度の「京都美風」をはじめ多くの文化情報発信イベントを実施しております。国内外から多くのお客様を迎える玄関口としての使命をひしひしと感じながら伝統や文化など京都のポテンシャルを広くPR出来るイベントを今後も開催してまいります。

京都創生トピックス

「歴史まちづくり法」に基づく京都市の計画が国からの認定を受ける 上七軒歌舞練場の屋根修理などに国の支援制度を活用

TOPICS

京都市では、「国家戦略としての京都創生」の実現を目指して、景観、文化、観光の3分野を柱に取組を進めており、国家的見地から取組を進めていく必要があるものについては、我が国の国家戦略と位置付け、必要となる制度的、財政的な支援を行うことを求めています。



前原国土交通大臣から認定証を受け取る
門川京都市長

この取組の成果として、昨年11月に、国から「歴史まちづくり法」に基づく計画認定を受けました。同法は、市町村が進める様々な歴史まちづくりの取組をハード・ソフトの両面で支援することを目的として平成20年11月に施行されたものです。



上七軒歌舞練場(屋根部分)

京都市では、この認定を受けて、屋根等の修理を行う上七軒歌舞練場への補助金交付を決定するなど、同法による支援制度の活用を開始しました。

今後も、上七軒周辺の無電柱化事業や道路の美装化、京町家の改修をはじめ、伝統行事の活性化などのソフト事業への活用等、総合的な歴史まちづくりの推進に努めていきます。

第13回京都創生連続セミナー

京都創生連続セミナーは、景観・文化・観光分野の専門家から、京都の魅力や素晴らしさ、課題などを語っていただくことにより、京都への理解を深め、「国家戦略としての京都創生」の実現に向けた市民の皆さまの自主的な活動の推進と気運の醸成を図ることを目的に開催しています。

第13回セミナーでは、「地歌」と「箏曲」をテーマに、解説と実演によりその歴史と魅力に触れていただきました。



京都のお座敷音楽の魅力——地歌・箏曲の楽しみ

開催日：平成21年12月18日（金）

会場：弥栄会館（ギオンコーナー）

講師：久保田 敏子さん（京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター所長）

実演：林 美恵子さん（社団法人京都當道会大師範、京都教育大学音楽科非常勤講師）

三好 晃子さん（三好敦子師、林美恵子師、藤井久仁江師（人間国宝）に箏曲・地歌三味線を師事）

林 美音子さん（林美恵子師に師事、現代音楽を沢井忠夫師に師事、柳川三味線を津田道子師に師事）

三味線は室町末期に沖縄の三線が^{さんしん}大坂の堺に伝来し、平家物語を語る琵琶法師たちの手で今日のような日本流の三味線に改良されました。特に彼等が所属していた職能集団の「当道座」で高い位置にあった石村^{いしむらけんぎょう}検校や孫弟子の柳川^{やながわけんぎょう}検校は「地歌」と呼ばれる三味線音楽の成立に大きく貢献しました。

慶長8年（1603年）、出雲阿国が北野天満宮で行った阿国歌舞伎を継承した遊女歌舞伎に三味線が採用されると、瞬く間に庶民の心を捉えて、人形芝居や舞踊などの劇場音楽にも三味線が愛用されるようになりました。

初期の地歌は、^{はやりうた}流行歌をつなぎ合わせた「^{くみうた}組歌」でしたが、やがて意味のつながった^{ながうたもの}「長歌物」や、遊女の悲しみや恋の悩みなどを題材に自由に創作した^{はうたもの}「端歌物」などが生まれました。これらは遊里や料亭のお座敷で、武士や商人、文人墨客が芸妓たちと共に、今のカラオケ感覚で楽しむようになり、社交の潤滑油として、三味線を弾いたり歌ったり、作詞にも手を染めました。彼らの作詞した地歌が幾つも残っていて今でも演奏されています。また、腕磨きを兼ねて、異なる曲を同時に演奏する「打ち合わせ」という遊び心一杯の演奏スタイルも工夫されました。

その上、三味線が誕生するまでは貴族や僧侶といった上流階級の占有楽器だった^{こと}箏も、八橋^{やつはしけんぎょう}検校の手で当道座に取り入れられて、三味線と共に一般の人でも楽しめるようになりなりました。

○当日は、昔、人々が畳の部屋でお酒やお料理を楽しみながら現代のカラ



オケのようにこよなく

愛した地歌や箏曲が実演されました。まず最古の地歌の例として今は京都にしか残っていない古態を残す柳川三味線で、組歌の^{ひだんぐみ}「飛騨組」、元禄時代の祇園の茶屋の主人で大石内蔵助とも交流のあった岸野次郎^{じろうざ}三作曲の芝居歌「^{こんかい}狐会」、^{らいさんよう}頼山陽作詞の「^{いくやまけんぎょう}東山」、雅やかな面影を残す箏曲「^{あきのうた}秋の曲」、そして京都の幾山^{いくやまけんぎょう}検校が幕末に作曲した遊び心溢れる「^{うちばん}打盤」と「^{よこづち}横槌」が打ち合わせで披露されました。



林 美恵子さん



三好 晃子さん



林 美音子さん

イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

事業名	概要	期間	場所	料金	申込	主催者等
關原紫水京人形展	日本文化の美と素晴らしさを伝統工芸の京人形で堪能。	開催中 2/28(日) 9時 16時	石清水八幡宮 研修センターロビー (八幡市八幡高坊 30)	無料	不要	主催：紫風工房 關原紫水 (問合せ先) 研修センター 075-983-3983
平城遷都 1300 年記念展『都からの文運—初公開京都の文人日記—晶子と鉄幹そして漱石、吉井、谷崎』	明治—昭和期に活躍した文豪らが京都をこよなく愛した理由とは？	開催中 4/16(金) 9時 17時	平等院ミュージアム 鳳翔館 (宇治市宇治蓮華 116)	600円	不要	平等院 0774-21-2861
巨大絞り几帳「月光の寒梅」	高さ 3m、幅 6.5m の世界一大きな巨大絞り几帳を展示。	開催中 5/5(水) 9時 17時	京都絞り工芸館 (京都市中京区油小路通御池南入)	500円	不要	京都絞り工芸館 075-221-4252
第 4 回墨聚展	水明書展の役員、無鑑査会員及び平成 21 年度有審部受賞者による選抜展。	2/26(金) 2/28(日) 10時 18時 (最終日は17時まで)	京都府京都文化博物館 5 階 (京都市中京区三条高倉)	無料	不要	水明書道会 075-533-3453
こわた きらさき 古渡り更紗展	17 世紀初頭に長崎に船載された工芸品の中から「更紗」を展示。	3/1(月) 5/31(月) 10時 17時	鈴木時代裂研究所 (京都市中京区丸太町通室町西南角)	500円	要	鈴木時代裂研究所(鈴木一弘) 075-231-2496
原田観峰生誕 100 年記念展 観峰の筆の旅 ～愛と平和への道～	書道家・原田観峰の生誕 100 年を記念した書道作品を展示。	3/6(土) 5/30(日) 10時 16時	観峰美術館 (京都市左京区岡崎南御所町 35)	600円	不要	観峰美術館 075-771-7130
京都書画院 第 16 回游墨展	東洋芸術の精華である書画の作品展。特別企画「古典の日によせて」を開催。	3/9(火) 3/14(日) 10時 17時	京都市美術館 1 階北側 (京都市左京区岡崎円勝寺町 124)	無料	不要	京都書画院 (事務局「書芸サロン賛交」) 075-255-0054
演者と見る須田国太郎 『能・狂言デッサン』5000 点 その 2—昭和 20～32 年	シテ方観世流 片山慶次郎氏を迎え、須田画伯の作品から能楽を探る。	3/13(土) 13時半 16時半	聖母女学院短期大学 (京都市伏見区深草)	1000円	不要	主催：能楽学会 共催：聖母女学院短期大学 (協力・問合せ先) 神戸女子大学 古典芸能研究センター (大山) 078-231-1061
京都創生エコ歴史ウォーク	先斗町と宮川町を中心に、龍馬や新撰組の歩いた道を講師とエコウォーク。	3/27(土) 10時	京阪三条・高山彦九郎 像前集合	300円	不要	新撰組記念館幕末ボランティアガイド塾 075-344-6376

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。○内容は、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

「国家戦略としての京都創生」を推進しよう！



京都幻想の美 清水寺：音羽の滝



京都静寂の美 岩倉実相院：床みどり

「国家戦略としての京都創生」を推進するため、京都創生宣言文を掲載した4種類のポスター（撮影：橋本健次氏）を作成しました。いつもの見慣れた京都とは一味違った京都の美を表現しています。皆様も、ぜひこのポスターを掲示し、京都創生の推進にご協力ください。

ポスターをご希望の方は、(叡京都文化交流コンベンションビューロー (TEL. 075-212-4540) まで。



京都憧憬の美 清水寺：三重塔



京都悠久の美 大徳寺塔頭龍源院：参道

京都創生推進フォーラム広報誌「京都創生」

発行日 平成 22 年 2 月 22 日

発行 京都創生推進フォーラム (事務局：叡京都文化交流コンベンションビューロー 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル 5F TEL.075-212-4540 FAX.075-212-4121)